

子どもの身体データを基にした設計用ツールの作成 (社)日本インダストリアルデザイナー協会

プロジェクトの目的

産総研やHQLが所有している子どもの身体寸法データを、様々な商品や環境の開発現場でデザイナーや設計者など企画・開発に関わる人達が、子どもに配慮した設計を実現するために活用できることを目的としたツール開発を行う。

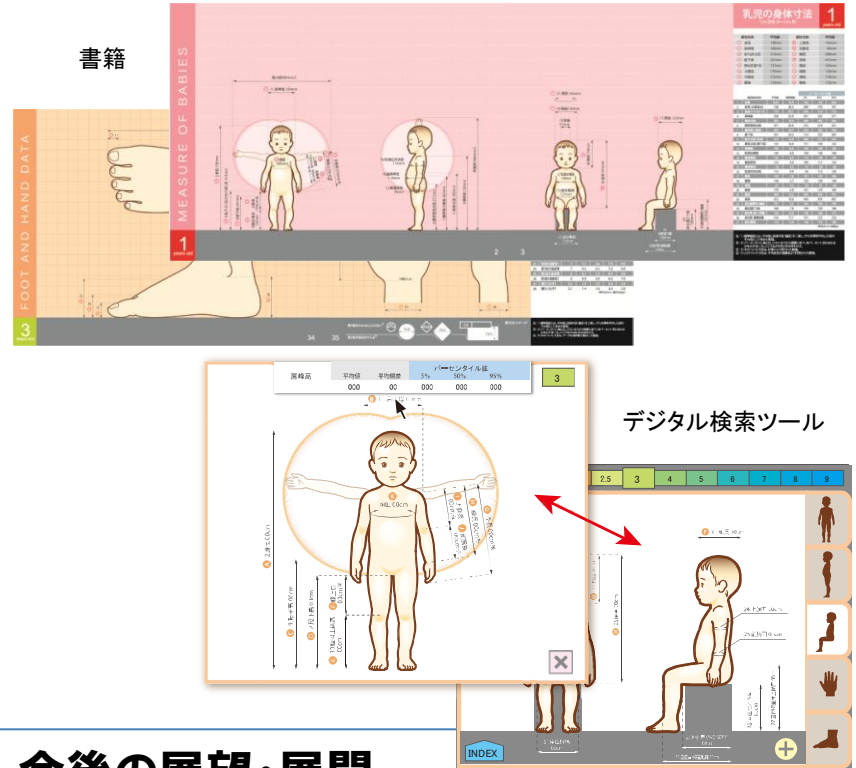
概要

- (1) 身体寸法データを視覚的に見やすく、使いやすい書籍形式にまとめる。
- (2) 同データをデジタル化し、直感的にわかりやすいインターフェースを加えることで、CD-ROMやWebでの使用を考慮したコンテンツを提案する。
- (3) デザイナーや開発者が製品開発段階で、子どもの身体寸法をリアルに認識できるツール。または危険を事前に予測しやすくしたり、シミュレーションや測定ができるツールを数点提案する。

結果

- (1) 書籍はイラストを多用し、親しみ易く解り易いものにする事ができた。
- (2) コンテンツも同様に、誰でも簡単に検索できる構成にすることができた。

(3) ツール開発においては様々なアイデアが生まれ、子どもに関連する寸法の入ったメジャー、原寸大で子どもサイズを実感できる頭や手足のトルソーなどが試作完成に至った。



今後の展望・展開

- (1) 今回開発した各種ツールを、誰もが容易に入手できるように商品化を果たすことが必要。
- (2) 今回試作し提案に至ったものは一部であり、更なる考察のもと、多様なツール開発を進めたい。